

**NPO** 法人 日本ウミガメ協議会  
Sea Turtle Association of Japan



2019年10月~2020年9月

## 1. 日本におけるウミガメ関連情報のとりまとめ

### 1-1 2020年シーズン（2019年10月～2020年9月）の日本の産卵情報の収集

全国の機関・個人より、ウミガメ類の上陸・産卵情報をいただいた。アカウミガメは3,552回の上陸、2,191回の産卵が確認された。また、アオウミガメは2,353回の上陸、1,561回の産卵が、タイマイは13回の上陸、9回の産卵が確認された。また、種の特定できなかった上陸回数は332回、産卵回数は168回であった。

### 1-2 2020年シーズンの漂着死体情報の収集

期間中、ウミガメ協議会事務局に通報を受けた漂着死体は523件であった。内訳はアカウミガメ195個体、アオウミガメ282個体、タイマイ22個体、ヒメウミガメ1個体、オサガメ7個体、クロウミガメ1個体、交雑種（アカウミガメ×タイマイ）1個体、種不明14個体であった。

### 1-3 2020年シーズンの標識調査

2019年10月～2020年9月の間に、15の個人・団体・機関に3,165個の標識を配布した。

### 1-4 第30回日本ウミガメ会議（みなべ大会）の開催

2019年11月15日から17日にかけて標記会議を和歌山県みなべ町で開催した。参加者は3日間でのべ700人を越え盛会であった。大会に先立ち、15日の午後からは千里の浜の浜見学に加え、孵化率調査と解剖教室を実施し、夜は前夜祭を行った。16日午前には紀伊半島のセッションを実施し、紀伊半島各地で活動している9つの団体から活動等の報告があった。午後には、産卵情報、死亡漂着、混獲状況の報告と「海洋ゴミとウミガメ」と題したミニシンポジウムを開催し、4題の講演があった。このほかに、12件の口頭発表、21件のポスター発表があった。



### 1-5 第32回日本ウミガメ会議（やんばる大会）の準備

2019年10月より国頭村役場や地元のウミガメ関係者との協議・調整を重ねたうえで、2020年12月に沖縄県国頭村にて「第31回日本ウミガメ会議やんばる大会」を開催することが決定した。しかしその後、新型コロナウイルスの感染が拡大し、収束が見通せない状況となった。そのため、参加者・関係者の安全面を優先し、開催地と再度協議を行い、やんばる大会は2021年に順延することとした。

### 1-6 第31回日本ウミガメ会議（オンライン大会）の準備

第31回日本ウミガメ会議やんばる大会の順延に伴い、代替案として、2020年12月にオンラインにて第31回日本ウミガメ会議を開催することを決定した。口頭発表および全国のとりまとめをオンタイムで実施することし、現在、各申込受付を開始し、開催に向けた準備を進めている。

### 1-7 令和1・2年度 徳島県 自然環境協力員育成（委託）

本事業は、徳島県内のアカウミガメ上陸・産卵調査等に関わる人材育成事業で、平成16年以降継続受託している。県内で募集した協力調査員（約15名）を対象に産卵シーズンに先立ち調査手法や関連情報に関する講習会を実施したうえで、個別の砂浜の調査結果に関して逐次報告を受け、それをとりまとめ、産卵シーズン後にフィードバックする報告会を実施している。本事業年度には、2019年11月23日に報告会を美波町道の駅「日和佐」、2020年6月13日に美波町日和佐公民館で実施した。

### 1-8 環境省モニタリングサイト1000 ウミガメ調査（委託）

本事業は、国内の様々な生態系に忍び寄り変化をいち早く察知するべく、環境省が多くの調査主体の協力により実施している包括的生態系モニタリング事業で、当会はこのうちウミガメ類の上陸産卵モニタリングと関連情報の調査とりまとめ等を2004年から担当している。2016年度の事業で見直した公募制を柱とする新体制を、1年間の休みを経て、2018年度から再開した。本年度は、38の調査主体に対して、ウミガメの上陸・産卵回数および調査範囲などに関するヒアリングを実施し、とりまとめを行った。

## 2 国際的な活動

### 2-1 日中ウミガメ保全協力

2019年5月23日から中国山東省蓬萊市で開催された「中国ウミガメ保護連盟」の第2回年次総会に松沢が招聘されたのを契機に、11月25日から28日まで訪日して日本の取り組みを学びたいとする中国ウミガメ関係者6名の視察団の要請を受けて、地方の漁業者との連携のモデルケースとして室戸市椎名大敷組合・むろと廃校水族館、水族館における保全研究のモデルケースとして名古屋港水族館、混獲対策研究のモデルケースとして東京海洋大学・塩出研究室への視察をアレンジして同行した。

## 3 個別プロジェクト

### 3-1 みなべ町千里浜のウミガメ保護調査（補助）

2020年6月26日から8月31日まで、みなべ町教育委員会の支援を受けて千里観音境内の調査基地に職員1名が常駐し、学生調査員およびみなべウミガメ研究班、青年クラブみなべと協働で調査を行った。調査は千里浜における夜間パトロールを実施し、産卵メスの個体識別および産卵巣へ食害対策用の竹網・金籠の設置を行い、随時、孵化率調査を実施した。また、この期間を通じて、周辺の砂浜（岩代浜、小目津浜、南部浜）での痕跡調査を昼間に実施した。なお、食害対策および孵化調査については、株式会社ライオン大阪工場のボランティアの皆様の協力を得た。調査期間中には、岡山理科大学、大阪ECO海洋動物専門学校の臨海実習を受け入れた。



### 3-2 アースウォッチ・ジャパン種子島のアカウミガメ調査（助成）

本プロジェクトは、アカウミガメの産卵地として屋久島に次ぐ規模の産卵を誇る種子島において、組織的な夜間砂浜踏査に基づく産卵メスの個体識別調査と子ガメの調査を実施するものである。主な目的は、屋久島や宮崎、みなべなど主要産卵地における回帰率の低さが種子島への産卵地の変更では説明できないことを確認し、間接的に、産卵後のメスの死亡率の高さを示すことにある。地元タートルクルーと連携し、三菱重工グループの支援を受けて継続しているが、本事業年度は、新型コロナ感染拡大防止のため、ボランティアおよび島外からの研究者の参加は見合せ、島内在住の研究者2名による8日の調査に留めた。

### 3-3 アースウォッチ・ジャパン紀州みなべのアカウミガメ調査（助成）

本プロジェクトは、アカウミガメの産卵地として本州最大を誇る和歌山県みなべ町において、千里浜に加えて、周辺の砂浜でも組織的な夜間砂浜踏査に基づく産卵メスの個体識別調査を実施するもので、これにより同一個体が町内の複数の砂浜を一体的に利用していることを示し、シーズン内の1個体あたりの産卵回数など基礎的な産卵生態を明らかにすることを目的としている。今年度は参加者の募集はしたものの、新型コロナ感染拡大防止のため、直前でボランティアの参加は見合せ、昨年度に引き続きGPSアルゴスを2頭の産卵個体に装着し、産卵後の移動経路を追跡するに留めた。



### 3-4 鹿児島県野間池におけるウミガメ類混獲調査

鹿児島県南さつま市野間池に設置されているしろせ定置網の所有者宮内叶氏（当会前理事）の協力の下、操業時に混獲が確認されたウミガメについて、種同定、甲長甲幅等の体サイズ計測を行なった後、左右前肢に標識を装着して放流した。2019年10月から2020年3月までの期間に、56個体（アカウミガメ5個体、アオウミガメ49個体、タイマイ1個体、種不明1個体）が調査対象となった。なお、本事業は2020年4月を以て終了した。

## 4 情報発信・教育啓発

(※付属施設の活動については、「5」に記載)

### 4-1 講演活動

2019.01.11. 於：三菱重工グループ スペシャルトークショー@名古屋港水族館  
2019.12.12. 於：美波町ウミガメ保護連絡協議会  
2020.02.01. 於：第8回九州ウミガメ連絡会@鹿児島市  
2020.02.08. 於：紀伊半島ウミガメ情報交換会@紀宝町  
2020.08.04. 於：アースウォッチ・ジャパン 三菱重工オンライン報告会  
2020.09.24. 於：アースウォッチ・ジャパン 日本郵船オンライン報告会

### 4-2 学会・論文等発表

松沢慶将 2020. 「ウミガメに対する気候変動の影響と適切な海岸管理」海岸. 888:63-66.

### 4-3 普及啓発

徳島県アカウミガメ上陸産卵調査報告会を開催 2019/11/23 徳島  
徳島県アカウミガメ上陸産卵調査講習会を開催 2020/06/01 徳島

### 4-4 その他

#### (1) 広報・メディア協力等 (抜粋)

ハーパーコリンズ・ジャパン『ミッション・ウミガメ・レスキュー (ナショナル ジオグラフィック キッズ)』監修  
紀伊半島ウミガメ情報交換会 30周年記念誌～30年のあゆみ～ 編集協力  
日本テレビ「天才志村どうぶつ園」千葉県一宮海岸砂中温度分析・取材協力  
テレビ朝日「探偵ナイトスクープ」高知県土佐清水市「ウミガメになって産卵したい少年」出演  
大阪府枚方市「FMひらかた」に出演 2020/07/28

#### (2) 情報の発信・印刷物の発行等

##### ●機関誌「マリンタートル」の発行

日本ウミガメ協議会の活動を広く周知するために、機関誌「マリンタートル」第28号(1/1)と29号(7/1)を発行した。



##### ●ウミガメ速報の配信 計9回

ウミガメに関わる個人・団体間での連携と情報の即応性を高めるために、電子メール・ファックスなどを利用し、ウミガメの産卵情報を中心とした情報を不定期に配信した。

#### (3) インターンシップの受け入れ

京都大学大学院 1名、京都産業大学 1名 ほか

#### (4) 専門学校講義担当

大阪 ECO 海洋動物専門学校にて、週4コマ(海洋生態・水族館就職対策)を担当

#### (5) 種の保存法違反に関する捜査への協力

某保護団体がインターネットオークションでのウミガメ剥製等の取引について一斉告発したことを受けて捜査を余儀なくされた各都道府県から、捜査協力要請を受け、写真による鑑定等を行うとともに、必要に応じて文章での解説等も行った。



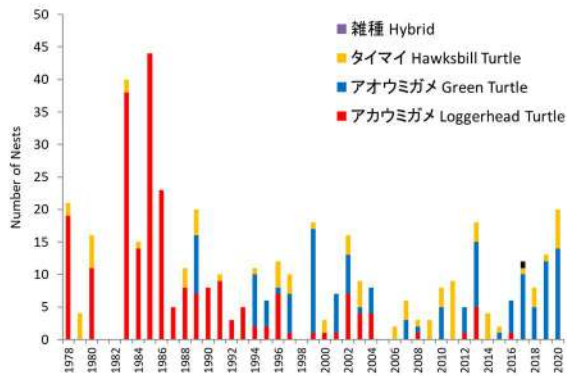
## 5 付属施設の活動

### 5-1 黒島研究所の活動

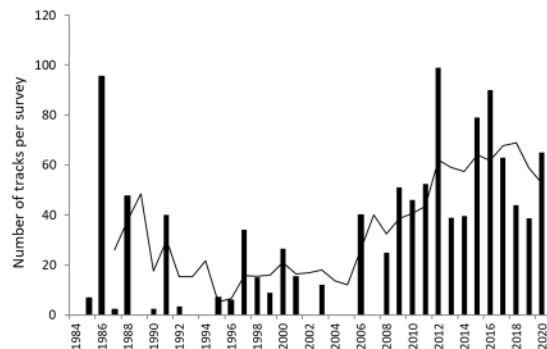
#### I. 調査・研究活動

##### ●ウミガメ類の上陸産卵調査（主に黒島西の浜、西表島南岸のウブ浜とサザレ浜）

黒島西の浜におけるウミガメ類の産卵調査は、荒天時を除き、毎日実施した。アオウミガメの上陸 35 回そのうち産卵 14 回、タイマイ上陸 10 回そのうち産卵 7 回が確認された。その他に、西表島の南岸のウブ浜とサザレ浜で 3 回の調査を実施した。その結果、アオウミガメ上陸 62 回そのうち産卵 65 回であった。なお、イノシシによる捕食は 61 巣であった。



西の浜におけるウミガメ類の産卵数の推移



西表南岸におけるアオウミガメの上陸回数

##### ●ウミガメ類の標識放流調査

今年度はアオウミガメ 78 個体を標識放流した。手法別では、黒島周辺での刺し網による捕獲調査は 6 回実施し、アオウミガメ 55 個体を捕獲した。その他に、ヘッドスタート 6 個体、産卵 3 個体、漁業者による混獲 14 個体をそれぞれ標識放流した。

##### ●助成・委託事業

助成事業：共同研究を含め 5 つの申請書を出した。共同研究者が主体による 1 つが採択された。

委託事業：在日米軍から 1 件を委託

##### ●論文・学会発表など

平井航大・亀田和成・河村功一（2020）八重山諸島におけるアオウミガメの摂餌選択性. 爬虫両棲類学会報.爬虫両生類学会会報 (1):1-10

Hamabata T, Matsuo A, Sato MP, Kondo S, Kameda K, Kawazu I, Fukuoka T, Sato K, Suyama Y, Kawata M. (2020) Natal origin identification of green turtles in the North Pacific by Genome-wide population analysis with limited DNA samples. *Frontiers in Marine Science*. 7:658.

##### ●本年度に実施、もしくは、次年度に予定しているプロジェクト

レモンザメの標識放流調査（東京海洋大との共同研究、現地調査は終了。論文を執筆中）

琉球列島におけるアオウミガメふ化幼体の性比（高知大・美ら島財団との共同研究。来年度も継続予定）

ドローンを用いたアオウミガメの生息密度と個体数推定（三重大との共同研究。来年度に実施予定）

ゲノム情報を活用したウミガメ類の雑種判定（東北大との共同研究。来年度も実施予定）

## II. 利用研究者・学生

2019年

研究者：長崎大1名

学生：海洋大1名、学生：三重大1名、学生：高知大1名

2020年

研究者：長崎大1名

学生：琉大2名、海洋大2名、三重大3名、大阪府立大1名、  
東邦大1名、埼玉動物海洋専門学校1名、高知大1名、  
早稲田大1名、東京農業大1名、岩手大1名

利用者合計16名（研究者1名・学生15名）



高知大と産卵巣の温度を計測

## III. 団体の受け入れ

修学旅行：高校計12校

学習体験：小中学校2校、民間1団体

その他、クラブツーリズムを20回受付

※次年度はすでに約20校が修旅で来所予定



海洋大とのサメ調査は現場が終了

## IV. 新聞掲載・テレビ出演等

黒島研究所47年経過。老朽化で閉館の危機。八重山毎日新聞

黒島研究所。可愛いうみがめとであう場所。地球の歩き方

東京オリンピック会場にウミガメ産卵。天才！志村どうぶつ園。日本テレビ

## V. その他

入館者数7,160人（2019年10月～2020年9月）

- ・新型コロナウイルス感染防止のため2020年4月9日～5月27日は休館
- ・ウミガメ勉強会 冬休み、春休み、夏休みの連休時に毎日
- ・マリントートラー発行

2019年

2月 沖縄カメ宴会 若月・亀田・中西

はこわっち。常設展の魅力再発見参加 亀田



春のウミガメ勉強会



竹富町海洋教育プログラムで現場案内

（若月・亀田・中西）

## 5-2 むろと廃校水族館および室戸基地の活動

### I. 調査・研究活動

#### ●ウミガメ類の通常調査

- ・大敷網 アカウミガメ 86 頭、アオウミガメ 172 頭、クロウミガメ 1 頭、オサガメ 2 頭
- ・漂着 アカウミガメ 2 頭、アオウミガメ 7 頭
- ・上陸産卵 アカウミガメ 6 頭

### II. 利用研究者・学生

#### 2019 年

- 10 月 佐喜浜中 2 名
- 11 月 羽根中 1 名
- 12 月 海洋大 6 名、海洋大学院 1 名、金沢大学 1 名、三重大 3 名、鹿児島大 1 名、大阪 ECO1 名

#### 2020 年

- 2-3 月 岡山理科大 6 名、名古屋女子大 1 名、日本生命獣医科学大 1 名、SAO1 名、海洋大 3 名、琉球大 2 名、大阪 ECO1 名、紀宝町ウミガメ公園 1 名、KAP2 名
  - 7-8 月 青年海外協力隊 1 名、ECO7 名
  - 9 月 東海大 1 名、SAO1 名、千葉科学大 1 名
- 利用者合計 44 名



地元漁師のマンボウ解体授業を受ける学生

### III. 団体の受け入れ

#### ●学校・保育園（遠足等）

#### 2019 年

- 10 月 羽根小学校 4 年生学P、近畿大学農学部、高知大学人文社会学科、馬路村魚梁小
- 11 月 ふるさと自然村やのまる保育園、安芸市いのち保育所、安芸市土居保育園、赤野保育所、うみのほし幼稚園、能津小、大谷保育園、高知大学人文社会学科、高知県立山田養護学校、高知市立第四小、元小学校

#### 2020 年

- 1 月 愛媛大学教育学部、吉良川小学校、高知工科大学
- 3 月 甲浦中学校、佐喜浜小学校、室戸高校
- 5 月 安芸市下山小学校
- 6 月 南国市御免野田小学校
- 8 月 高知県立安芸中学校 1 年生
- 9 月 香美市大柳小学校、香美市楠目小学校、羽根小学校、高知県立大学



ぬいぐるみくじが人気

#### ●議員等の視察受け入れ

#### 2019 年

- 10 月 エコリカル・アグリミュージアムNADA、東京都国分寺市、公明党、福井県小浜市議会、全国市議会議長会、
- 11 月 愛媛県事務組合、山形県遊佐町議会、ワールドシード、大分県別府市議会、四国ファシリタマネジメント協会、和歌山県那智勝浦町議会
- 12 月 行政指導員、愛知県豊橋市議会、東京都八王子市議会

#### 2020 年

- 1 月 熊本県宇城市議会、岐阜県高山市議会、広島県府中市議会、広島県東城町商工会

#### ●ツアー

読売旅行、阪急交通社、JTB、農協観光、近畿ツアーリスト、とさでんトラベルなど、多数の団体が来館



IV. 新聞掲載・テレビ出演等

- 全国・ローカル問わず多数出演
- 高知新聞、読売新聞など多数掲載
- 高知新聞「閑人調」、朝日新聞「海はエライ」コラム連載（若月）

V. その他

- 入館者数 83,723 人（2019年 10月 1日～2020年 9月 30日）

●新型コロナウイルス感染症

室戸市からの休館要請：2020年 3月 6日～3月 19日、  
4月 18日～5月 17日  
休館期間中はニコニコランドセルを販売

コロナウイルス感染対策

- ・入館時に検温と手指の消毒
- ・館内では一定の間隔を開けて一方通行
- ・チケットとグッズは屋外で販売（受付にアクリル板を設置）
- ・換気のため一部の扉や窓を常時開放
- ・職員のマスク着用

●ウミガメ調査体験

主に小・中学校の対象として実施

●イベント実施

- 2019年
- 10月 記念碑建立の除幕式
  - 12月 サンタさんお迎えイベント  
（共催：椎名大敷組合）  
むろと廃校イルミネーション水族館  
年越し流しそば  
年末オールナイト開館
- 2020年
- 1月 初日の出鑑賞  
イカ墨の書き初め大会  
2020 こうち総文祭開催 200 日前 PR
  - 2月 サバらしい日々
  - 7月 あなたのシライない魚介
  - 9月 コスタ理科室

●Twitter 毎日更新

●講演活動

- 2019.10.16 高知市立第四小学校 PTA
- 2019.10.25 沖縄大学（60周年記念事業）
- 2019.12.07 沖縄大学（子ども文化学会）
- 2020.01.09 土佐市商工会
- 2020.01.20 羽根小学校 6年生
- 2020.01.30 こうち生協業者新年会
- 2020.02.22 土佐まるごと社中第 30 回定例会
- 2020.06.24 高知県立西高校
- 2020.07.01 室戸小学校 4年生
- 2020.07.16 高知県高知西倫理法人会



桂浜水族館・室戸ドルフィンセンターのペア入場券も同梱（ニコニコランドセル）



記念碑（裏面は自動販売機）



室戸市内の飲食店でサバ料理の提供



室戸中・高の吹奏楽部が水槽で演奏（こうち総文祭 PR イベント）

（若月・田中・覺口・岩佐・米田・岩崎・千原）